



週報 第3130回

会長 植村 勢彦 副会長 原 正人
幹事 渡辺 万寿 SAA 西田 佳郎

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-91-9501

メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会 (2021年9月24日)

■ プログラム

卓話担当 中 透 会員
「統警察医の独り言」

■ 次の週のプログラム

10月1日:クラブフォーラム
今井 克範
米山記念奨学金委員会委員長

■ 今後の予定

・10月 8日:定款の規定により例会休会
・10月15日:卓話担当 西端 政博 会員

■ 祝 誕生日

山本 正邦 (26日)
西田 佳郎 (26日)
小野寺 巧 (29日)

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

赤とんぼ

夕焼小焼の 赤とんぼ
負われて見たのはいつの日か
夕焼小焼の 赤とんぼ
とまっているよ 竿の先

■ 先週の例会

会長の時間

台風情報で今夜から未明に掛けて風雨が強まるので、準備をしておいてください。皆さん来週の21日の火曜日は、中秋の名月です。一年で一番きれいな月が見える日です。
植村 勢彦 会長
今年は8年ぶりの満月です。旧暦の8月15日の十五夜にお月見をする習わしです。元々は中国から伝わった歴史があります。中国では中秋節として中華三大節の(春節・清明節・中秋節)の一つとしてアメリカでは、ハーヴェスト・ムーンと言います。直訳は【収穫月】です。満月がこうこうと明るいので、夜に収穫ができて助かるというところから名づけたいです。アメリカでは毎月の満月に名前がついているようです。関西では月見団子ですが、地域によっては、里芋をお供えする地域もあります。芋の収穫時期でもあり感謝の気持ちを込めて【芋名月】と呼んでいます。十五夜と別に日本だけが旧暦9月13日の夜に十三夜というお月見があります。この十三夜と十五夜とセットでお祝いすることが良くとされています。十三夜の別名は「栗名月・豆名月」と言います。今年10月18日月曜日です。この十三夜は日本だけのもので、中国・台湾・香港・韓国にはありません。



IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3130回

またお月見と言えばススキを飾るのは稲の代わりと言うのがありますが、ススキには神様が休憩し、魔よけの効果があるとも信じられています。最近下を向く事が多くなり、上を見る事が少なくなりました。天気が良ければ、気分転換に天を仰ぎ綺麗なお月さんを見ながら一杯飲みたいです。(2日前から満月に近い) 話は変わりますが、コロナ感染拡大防止で悪いのは別に、先進国で日本だけがロックダウンや、行動を抑制する罰金制度がありません。緊急事態宣言を出しても効果が見られないので、ソーシャルディスタンスを保っている飲食店が休業や閉店に追いやられています。しかし私は直接見たわけではありませんが、南や北の繁華街でも、緊急事態宣言を出しても普通にお酒を提供している店も結構あるそうです。北新地や南のクラブも同伴であれば飲みに行けるそうです。また家族や自分の身の危険を感じず、飲みに行く人も結構居るそうです。分科会の尾身会長も「個人の感染リスクの高い行動を避けてもらう法的な仕組みも必要だ」と言われています。これらは何とか罰せられる制度を作らなければ、真面目にやっている者が、馬鹿を見るようになり切れません。政府の感染防止対策はワクチン接種を第一に考えているので、海外の反応を見ても、ロックダウンしてもまた感染拡大しているのではと結論づけています。前にも言いましたが、もう2ヶ月早く実行し、スムーズにワクチン接種をしていけば、こんな事にはなっていないかと思えます。日本には国民の権利を、大幅に制限できる【私権制限】と言うものがあります。しかしそこには憲法で保障された自由という大きな壁があります。営業の自由・行動の自由等があります。医療崩壊のことを考えると、ロックダウンもありですが、国民の生活に大打撃を招く恐れがあります。またロックダウンは行政が住民の生活保障を確保する基盤や能力がなく、不可能だと思います。そうすればどうしたら良いのか、今よくテレビでワクチン接種を受ける様にお医者さんやサッカー選手等がPRコメントしています。それはそれで良いのですが、私の考えですが、有名な人色々な電波を通じて(SNS・インターネット)【あなたの行動で、家族や国民の命を守れます。自覚を持って慎重に行動しましょう!】これは私なりに考えたキャッチフレーズですが、無謀な人にも少しは心に響かないかなと思います。ロータリーには個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の

理想を適用することあります。またロータリーは、親睦と奉仕を大切にしています。こうして集まって例会をすることが、ロータリーの存在意義があると思います。こんな時ですがお互いに情報を共有し、楽しい例会を目指しています。形はどうあれ(ハイブリット)ご参加くださいますようお願いいたします。

■ 幹事報告 渡辺 万寿 幹事

○本日メールボックスに小林美術館開館5周年記念のはがきを入れてさせて頂いておりますのでご覧ください
○来週はシルバーウィークになります。24(金)は平日ですので例会は、12時45分より開始致しますのでよろしくお願い申し上げます

■ 委員会報告

本日例会終了後、会員増強・クラブ研修委員会を開きますので委員の方、ご出席よろしくお願致します
(藤野 修次 会員増強・クラブ研修委員長)

■ ビジター なし

■ 出席報告 会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
9/17	32名	11名	—	74.42%
9/3	38名	5名	1名	90.70%

■ メークアップ

榎本(9/17 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

■ ニコニコ箱

- ・松内さん本日の卓話、宜しくお願致します(植村)
- ・松内さん宜しく御願致します(渡辺)
- ・松内様、本日の卓話宜しくお願いたします(西田)
- ・先週欠席のおわびです(川端)
- ・欠席のお詫び(原(眞))

ニコニコ箱合計	12,000円
累計	181,000円

先週のプログラム



卓話担当 松内 俊夫 会員

先日植村会長のお話にも御座いましたがパラリンピック開催終了いたしました。障がい者への理解・関わり合い方と言うのも改めて考えるきっかけになったかと思えます。SNS等にも障がい者に対して理解・関わり合い方が深まりました。と言う投稿もたくさん見受けられました。非常にうれしいことで御座います。

私、子ども2人おり双子で御座います。男の子と女の子です。男の子のほうは重度の知的障害を持つ自閉症です。見た目は普通ですが意味のある言葉は発せれません。ただ見た目は普通の可愛い高校三年生の男の子です。

たまに町で同じように知的障害の方がいて奇声を発したり奇妙な行動ブツブツ言うてるのを見かけます。障がい児を持つ私でもたまに変な複雑な気持ちになってしまいます。なので身近に障がい者がいない方々に比べればもっと複雑で変な気持ちになるのは仕方ないのかもかもしれません。

数年前神奈川県が障がい者施設「やまゆり園」で痛ましい残虐な事件が多数出てまいりました。障がい者・職員死傷者が起こると言う事件が起こってしまいました。一人の容疑者の身勝手な思い考えで起きてしまった事件です。すごく憤りを感じました。しかしながら今の日本には一定数こういう思想・考えの方がいるのは現実で御座います。私54年生きてきて数名このような発言をする人を身近に数名みてきました。障がいしゃなで生きて意味がないと言いますが我々親・保護者にとっては何んか形であれ宝物で御座います。子どもから生きる活力をもらっています。今回のパラリンピック・障がい者への活動を通してちょっとでも私も含めてですが障がい者に対してもっと興味を持ち理解が深まり優しく思いやりを持てるような社会になったらいいなと心より思います。

先月商工会議所の会議所ニュースに「私の至福の時」と言う題材で私の記事が掲載されました。私の至福の時は「子どもの笑顔を見るときと思ひ浮かべるときです」というものでした。実際至福の時は内容のままなのですが、もう一つの思いがありま

した。先程出ました知的障害の子どもの名前は松内勇樹と申します。ちょうどい機会なので「松内勇樹君」の記事を通して地域の方々に存在を知ってもらいたいという思いもありました。」今泉支援学校に通ってます。なかなか知的障害児は同士のコミュニケーションとろざらく友達もできにくいです。勇樹君も友達がいません。存在を知ってる人もほとんどいません。なのでこの機会を通して存在を一人でもいいので知ってもらいたい。今日この話をさせていただいたのも存在を知っていただきたいのでした。今後ロータリーでも家族例会等でお連れする機会もあるかもしれませんのでその折にはよろしくお願いたします。

さて今日の卓話ですが私の趣味はDJでしてその内容とも思いましたがまた別の機会でお披露目させて頂ければと思えます。なので今日は別のお話のしたいと思います。その前にDJですが来週20日敬老の日に泉大津の中央商店街に先週オープンしました喫茶店で1時間DJをします。お盆明けくらいに喫茶店オープンするんやけどDJしていただけますか?と青年会議所の後輩に言われました。話を聞くと地域のシニアの雇用促進の為に従業員が年配の方で、お客さんも年配の方を中心としたお店にして地域のシニアの方々のコミュニティの場そして目の届く範囲でのシニアの方々の見守りの場にしてほしいという思いもありました。なのでJCの後輩の焼きた鳥屋サキチを経営している吉本君の思いでオープンすることになりました。私もそのコンセプトに賛同しました。実は私DJ始めた時の目標の一つとして老人ホーム等での慰問的な事もしてみたいと言う思いもありました。なのでDJさせて頂いていただくことを快諾いたしました。今の30代50歳代の人には本当に即行動の人が多くいます。私50歳代ですが負けられないように一緒に食らいついていけるよう更に60 70 80の方々ともお知恵を頂きいろいろお手伝いさせてもらえればと思っております。ちなみにどんな曲を掛けたりするかはまだ思案中ですがどんな感じがいいのでしょうか?

本日は心理学をご紹介します。しかしながら何分まだ勉強中ですので間違ったことをご説明するかもしれませんがご容赦ください。ご指摘ください。心理学という学問は、実験心理学も臨床心理学

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3130回

も、19世紀の最後の四半世紀、つまり、1875年ごろから1900年ごろまでに成立したと考えられる。なので心理学はまだ研究が始まって100年ちょっとくらいです。心理学は人の心の研究する学問ですが人の心は目に見えませんが興味深いものです。そういう心を探る科学的に分析をして「人はこういう行動をしたときはどういう心理状態なのか」という事を解明するのが心理学です。

以下3大心理学者、フロイト・ユング・アドラー等々心理学の歴史等々説明。

最後に前回は心理学勉強して何を目標してるんや?とお思いの方もいらしゃるかもしれませんが。今の現状は他人をカウンセリングで治すのを目的ではなく心理学を学びながら自分をカウンセリングして自分を治してる途中です。治してるという現状よりマシになるように。心理学を学び始めて楽になった部分はありますが、それ以上に治さないといけないのでしんどい部分の方が多いです。カウンセラーはカウンセリングの力量が必要で重要です。中途半端なカウンセラーだとクライアント(患者)を逆に悪化させることもあります。しかしながら気軽にカウンセリングできる場所は今の日本にはもっと必要だと考えます。食べ物で体の健康をと提唱する場所やお店は多くありますが、心の健康を気軽に相談できる場所は少ないです。メンタルが弱いと体の不調もつながら食では解決できません。根本的には心の健康が最も重要になってきます。心理学を勉強しながらそれに携われることをやっていきます。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか